



発行責任者: 歯学部長 榎 宏太郎, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



昭和大学創立90周年記念式典・記念祝賀会が開催されました

歯学部長 榎 宏太郎

令和元年11月10日(日)に、昭和大学上條記念館上條ホールにて創立90周年記念式典が執り行われました。快晴に恵まれた当日は、式典に先立つ12時から、上條記念館開館記念公演として第九演奏会が催され、この日のために有志を募り厳しい練習を重ねて来た上條メモリアル合唱団と昭和大学管弦団の皆様は、世界的マエストロである上岡敏之さんの指揮のもと、素晴らしい歌唱と演奏を披露され、一般の方々もつめかけた満員の上條ホールに大きな感動を与えてくれました。8年前から準備を進められた第九演奏会実行委員会の田中大介先生をはじめとする皆様に心より御礼を申し上げます。

昼食をはさみ、14時からはホールの緞帳の作製過程の解説とともに、世界で初めて蓄光系を用いたという富士の日の出から刻々と表情を変える壮麗な様が披露されました。続いて、記念式典が開始され、国歌斉唱の後に、小口勝司理事長より式辞を、久光正学長と小出良平前学長からご挨拶と山本登同窓会会長から祝辞を賜りました。特別功労表彰に続く、「創立90周年によせて」と題された小口理事長の記念講演では、上條秀介学祖が三十代で関東大震災に遭遇し、被災した人々を治す臨床医の必要性を痛感したことから本学の開設を決断され、「社会に貢献できる医療人の育成」という建学の精神が生まれたことが紹介されました。さらに、上條一也先生の三つの夢として、1)医療系総合大学の設立、2)全人教育を目指した日本で初めての全寮制の創設、3)卒前・卒後の医療人教育の充実としての総合病院(藤が丘病院)の開設を挙げられ、中興の祖として現在の本学の基盤を固められた歴史が示されました。そして、現在の小口理事長自らが十一年前に教育体制と診療体制を改めて整備し、「日本一を目指そう」という目標を掲げたことに言及され、輝かしい歴史をさらに前進させ、創立100周年に向けて、さらなる夢を実現する強い決意が述べられました。

夕刻より、グランドプリンスホテル新高輪の飛天の間に場所を移して開催された祝賀会には、千五百名にも上る参加者が集い、創立90周年を祝いました。この一日を通して、本学の歴史は真に素晴らしいものであり、「夢を持ち、決断し、実行する」という先人

の生き方は、いつの時代にも通ずるものであり、常に我々を励ましてくれていることに気づかされたように感じます。

長い期間に渡って、本企画の立案から準備を担当された教職員の皆様に厚く御礼を申し上げます。そして、久光学長がご挨拶で語られていたように、本学が至誠一貫の理念を、全員で共有していることを心より誇りに思いました。ありがとうございました。



小口勝司理事長の式辞



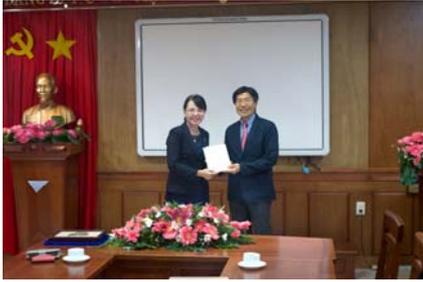
上條メモリアル合唱団と昭和大学管弦楽団による演奏会



緞帳披露会

ホーチミン医科薬科大学歯学部と 学部間協定を締結しました

歯学部国際交流委員長 桑田 啓貴



10月9日火曜日、ベトナム・ホーチミンのホーチミン市医科薬科大学(UMP)歯学部と学部間協定を締結しました。今回、学部

間協定の締結にあたり、ホーチミン市の現状視察も兼ね、国際交流センターの宮崎隆センター長、橋本みゆき先生、マイクマイヤーズ先生、歯学部国際交流担当の私でUMPを訪問いたしました。ホーチミン市は、ベトナム南側の中心地で、ベトナム最大の経済都市です。大学は街の中心にあり、大学周辺は人の往来も多く、大変活気がありました。締結式の後、Ngo Thi Quynh Lan 先生(歯学部長、写真)をはじめとした多くの歯学部の先生に、歯科病院や大学図書館を案内してもらいました。歯科病院では歯学部学生がライターの指導を受けながら学生自身で治療を行っていました。他に気がついたことは、大学の説明の随所にハノイ大学との比較があり、ライバル校として強く意識されていることでした。学生と直接話しをする機会もあり、日本および東京については大変興味を持っていました。学生の講義(写真)や実習の様子も見学しました。学生実習ではちょうど微生物学実習を行っており、UMPの先生が日本から来た微生物学の先生として紹介してくれました。昭和大学とUMPでは以前から学部間交流を行っており、2018年にはLu Lam Thien 先生がインプラント科に1年間留学されていましたが、今回の訪問では久しぶりに再会し、お元気な様子を確認出来ました。今回の学部間協定の締結を以て、昭和大学の学生を派遣することが可能となります。今後は歯学部に加えて、薬学部も学部間協定の締結を目指しており、全学的にもより活発な国際交流が期待されます。



令和元年度秋季大学院修了式が 行われました

歯学研究科長 高見正道

令和元年9月26日午後4時より、令和元年度大学院秋季修了式が昭和大学上條記念館において行われました。昭和大学管弦楽団による演奏に続いて

久光学長より学位記が各研究科の代表に手渡されました。今回は、医学研究科17名、歯学研究科1名、薬学研究科3名に博士の学位が、保健医療学研究科9名に修士の学位が授与されました。

小出学長の告辞と小口理事長の祝辞に続いて各研究科長が挨拶し、歯学研究科長の私は「これから多くの試練が待っています。目下、11月締め切りの科研費の申請に苦勞していると思いますが、大学院で培った強い精神力と行動力で乗り越えてほしい」と述べました。

昭和大学宣言と校歌斉唱の後、修了者に研究科長から学位記が一人ずつ手渡され、歯学研究科の畔津祐季さん(歯科薬理学専攻)と記念撮影をおこないました。



第二延山小学校で校外実習を行いました

小児成育歯科学講座 杉山 智美

11月11日に、歯科理工学部門の先生方と第二延山小学校の5年生、清水台小学校6年生を対象に「歯科医師体験」の授業を行いました。これは小学生自身が医学・歯学・薬学・看護学のなかから2つ選択し、それぞれの学部の特色を生かしたプログラムを体験してもらうものです。

「歯学」では、初めに歯の仕組みや役割、治療法についてクイズをしながら勉強した後、実際にレジン充填をしてもらいました。実際に参加した小学生の中には「歯医者さんに行ったことはあるけど、治療はしたことがない」という声も多く、「削って治すのは知っていたけど、実際に見たのは初めて」という声も聞かれました。

実際にレジン充填を行う際には、「なかなか歯の溝が作れない」「こんなところにも溝があるね」と模型の歯をみたり触ったりしながら頑張ってくれていました。最後に光を照射してレジンが硬化することにとっても驚いたようで、硬化したレジンをみて「どうして固まるの?」「この光はなんですか?」と質問しながら楽しんで実習に取り組んでくれていました。

短い時間での講義・実習でしたが、このような機会を通して口腔の健康に興味を持ってもらえたら嬉しいです。

令和2年度推薦・編入学試験が実施されました

入学支援課 阿部 萌子

11月17日(日)に、令和2年度医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部の推薦入試と歯学部、保健医療学部看護学科の編入学試験が旗の台キャンパスにて行われました。

今年度、歯学部の推薦入学試験(25名募集)の志願者は48名、編入学試験(若干名)の志願者は12名でした。

当日は天候にも恵まれ、特に大きなトラブルもなく、基礎学力試験に引き続き、小論文試験、面接試験の運営業務にご協力を賜りました教職員の皆さまに心から御礼申し上げます。そして、合格発表は11月19日(火)午後3時に行われ、推薦入学試験では25名(男8名、女17名)、編入学試験では2名(男1名、女1名)が合格しました。また、11月30日(土)には合格者へ向けたガイダンスを実施いたします。

今後の入試日程は、下記の通りとなります。1月23日(木)の一般選抜入学試験(I期)・センター利用入試(A方式)入学試験は、東京試験会場(五反田TOCビル)の他、大阪試験会場(新大阪丸ビル別館)、福岡試験会場(南近代ビル)の計3試験場にて行います。教職員の皆さまには今後ともご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

入試種別 [募集人員]	出願期間	試験日	合格発表
一般選抜入試(I期) [44名]	R1 12/18 ~ R2 1/14	R2 1/23	R2 1/27
センター利用入試 (A方式) [10名]		センター試験 R2 1/18-19 個別試験 [面接] R2 1/23	R2 2/6
センター利用入試 (B方式) [6名]		一次試験 [センター試験] R2 1/18-19	R2 2/5
医学部一般選抜入試 (I期)利用併願入試 [3名]		二次試験 [小論文・面接] R2 2/11	R2 2/12
		一次試験 [学力] R2 1/24	R2 1/29
		二次試験 [小論文・面接] R2 2/1-2	R2 2/3
一般選抜入試(II期) [8名]	R2 2/10 ~ 2/27	R2 3/8	R2 3/10

行事予定

広報委員長 中村 雅典

12月11日(水): CBT

スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラムで基礎部門2位を受賞しました

歯学部5年 大塩 葵

この度、私はスチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム(SCRIP)日本大会にて、「歯周病性骨吸収および破骨細胞分化に対するオゾンジェルの効果」についてポスター発表し、基礎部門2位を受賞しました。慣れない実験やデータの整理などで研究室の先生方には大変ご迷惑をおかけし、自分の勉強不足を恥じる日々でしたが、このような賞をいただくことができ、驚きとともに感謝の気持ちで一杯です。

ポスター発表は英語で行いましたが、フランクな英語ではなく、本物の研究発表さながらに会話するよう何回も練習しました。この大会は全国から歯学生が集まるレベルの高いものであり、当日は緊張感でしたが、様々な発表を聴くことができ、大変勉強になりました。また、審査後には他大学の学生と交流もでき、非常に充実した時間を過ごしました。その際も、多くの学生や先生方が研究内容について熱心に質問してくださり、とても印象深いものとなりました。

今後も、研究に携わる機会がありましたら、この経験を活かして根気強く頑張っていきたいと思います。

最後に、今回の研究発表にご指導賜りました、口腔生化学講座の宮本先生、須澤先生、山田先生、吉村先生、笹先生、そして国際交流センターの橋本先生、平泉先生、Myers先生に心より感謝申し上げます。



受賞

広報委員長 中村 雅典

第63回 日本顎口腔機能学会学術大会 優秀賞

歯周病学講座 大藤 拓生

歯科補綴学講座 小原 大宜

日本歯周病学会 Young Investigator Award

歯周病学講座 加藤 麻友

第56回 日本口腔組織培養学会学術大会

・ベストプレゼンテーション賞

口腔生化学講座 木下 三博

・学術奨励賞

歯科麻酔学部門 吉田 優子

日本口腔組織培養学会学術大会で ベストプレゼンテーション賞を受賞しまし た 大学院2年(口腔生化学講座)木下 三博

令和元年11月2日、岐阜県の朝日大学病院西館ホールにて開催された、第56回日本口腔組織培養学会において研究発表をさせていただきました。さまざまな分野の歯科基礎研究のご発表が披露され、活発な質疑応答がなされました。発表させて頂きましたことと併せて、興味を惹かれる内容が随所にあり勉強になり有意義な時間を過ごすことができました。私は「PMAによる細胞外マトリックスタンパク質Nephronectinの発現制御機構の解明」という演題で発表をさせていただきました。発表準備は入念に行ってきたつもりでしたが、どうしても組み入れたいデータが直前にあがったこともあり、当日の研究発表の際は質疑応答を含めてかなり緊張をいたしました。おかげさまでベストプレゼンテーション賞を受賞することができ大変うれしく思います。これまでご指導下さった口腔生化学講座の上條竜太郎教授と山田篤講師、そして多くの先生方と関係者の方々方に心より感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い申し上げます。



日本口腔組織培養学会学術大会で学 術奨励賞を受賞しました

歯科麻酔学講座 吉田 優子

この度、令和元年11月2日に朝日大学病院西館ホールで開催された第56回日本口腔組織培養学会にて学術奨励賞を受賞しました。本学会は、口腔組織・細胞培養という研究手法を共通に、臨床系および基礎系の多彩な分野の研究者が一同に集う学会です。様々な分野の研究発表を聞くことができ、大変有意義で貴重な時間を過ごすことができました。私の研究テーマは「血管形成におけるCdc42の役割」です。これまで、血管内皮細胞特異的Cdc42遺伝子欠損マウスの血管形成及び血管を介した骨形成について研究を行ってまいりました。血管は、酸素や栄養素な



どを運搬し、老廃物を回収する血液の通路としてのみならず、血液凝固反応や臓器形成など生体における様々な生理作用に関与しています。骨と血管の関連性および役割は未だ不明点も多く、この度の受賞を励みに更なる研究の発展に向けて努力する所存です。今回の受賞に際しまして、これまでご指導くださった全身管理歯科学講座歯科麻酔科学部門飯島毅彦教授、口腔生化学講座上條竜太郎教授ならびに多くの先生方にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

日本顎口腔機能学会学術大会で優秀 賞を受賞しました

大学院4年(歯周病学講座) 大藤 拓生

10月26日、27日に昭和大学旗の台キャンパスで開催された日本顎口腔機能学会第63回学術大会で優秀賞に選出されました。私の発表演題は「除脳ラット動脈灌流標本を用いた咀嚼リズム神経活動の誘発」です。

日本顎口腔機能学会には、歯科補綴学、歯科矯正学、小児歯科学ほか多くの臨床系領域、口腔生理学などの基礎系領域、さらには工学系領域など、多様な専門領域の研究者が会員として参加しています。多様な専門領域の会員が領域の垣根を越えて情報を共有するために、学術大会では発表15分、質疑応答15分というスタイルをとり、徹底的にディスカッションを行う場が設けられています。

発表後の質疑応答に加え、学会一日目終了後の懇親会では、他大学の御高名な先生方とお酒を酌み交わしながらお話をすることが得られ、多くの質問やアドバイスを頂くことができました。

また、他大学の大学院生とお互いの研究内容を話し合ったりするなど、とても貴重な経験をさせていただきました。今回の経験を糧にして、より一層研究に励んでいきたいと考えております。

本発表にあたり御指導頂きました口腔生理学講座の中山希世美講師、井上富雄教授、歯周病学講座の山本松男教授をはじめ、諸先生方にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



編集後記 口腔微生物学講座 深町 はるか

恒例となりました旗の台キャンパスのイルミネーションが点灯し、キャンパス中庭は色鮮やかな光に彩られています。末筆となりましたが、ご多忙中、ご執筆頂きました先生方に深謝申し上げます。